

# 接着剤なしで壁面、ガラスに簡単に脱着可能シート販売

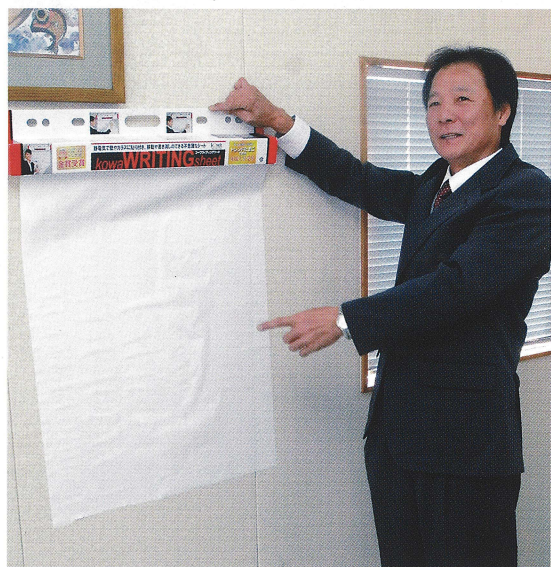
サンキコーポレーション

事務用品卸売りの㈱サンキコーポレーション(雲南市加茂町加茂中、高木真悦社長)は接着剤を使わずに壁面やガラスに張り付け可能なシートの販売を開始した。同シートは大震災対策本部や避難所で活用されたり、自動車やイベント会場で裝飾用ポスターとして使われるなど、注目を集めている。

コンクリート壁でも静電気を活用して楽に脱着

できる「ライティングシート」と、特殊合成樹脂・ポリオレフィン製の強い粘着力と耐久性を高度加工した「シエルシート」の2商品。

(㈱光和インターナショナル(東京、細貝和則社長)が開発した。細貝社長は雲南市出身で、同商品の販売代理店網を



壁に張り付けたライティングシートを説明する高木真悦社長＝雲南市加茂町加茂中、サンキコーポレーション

敷いている。高木社長が今年6月、雲南市内での企業間交流会で「山陰地区に販売拠点が無い」のを細貝社長から聞き、同社を立ち上げて販売代理店の契約をした。



自動車に張り付けたシエルシート。はがしても接着剤の跡はない

## 災害時の掲示ボードやイベント案内に

高木社長は電気・電子部品製造のサンキ(雲南市加茂町神原)を個人経営しているが、受注量が減少。新たなビジネスモデルを模索していた。ライティングシートは縦80センチ、横60センチの25枚入り(3990円)と10枚入り(2625円)の2種類。水性ペンで自由に書き消しができ、被災地では自衛隊や警察による安否や避難状況の確認に活用。避難所や病院では伝言板として重宝された。防災用品として購入する自治体も相次いでいる。

シエルシートは幅91.4センチ



ライティングシート④とシエルシート

127センチ、長さ20〜30センチで、水性顔料インク用とエコソルベントインク用の計4種類(4万4100円〜11万5500円)がある。自動車の裝飾のほか、百貨店、空港などで催される季節限定のイベント案内など幅広い実績がある。環境に配慮し、いずれも可燃ごみとして処分できる。山陰では事務機を扱う業者や印刷業者などを対象に営業活動を展開。高木社長は「まずは商品のことを知ってもらい、広く使ってもらえるようにしたい」と力を込める。